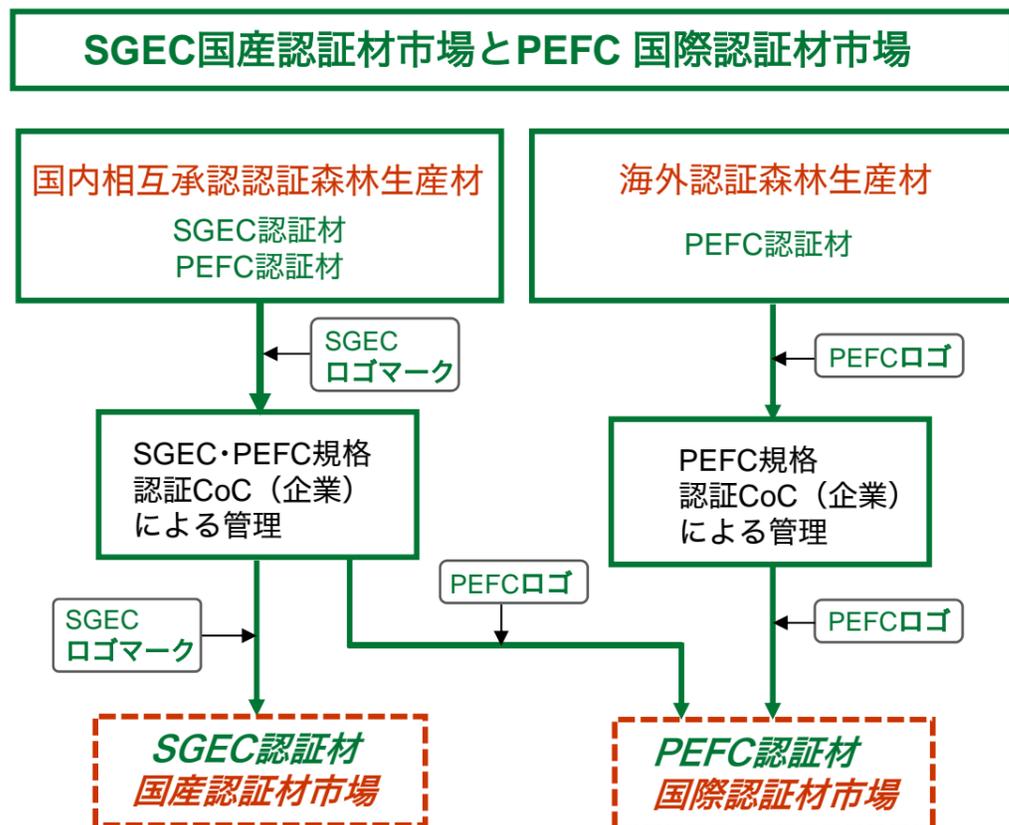


購入する人の安心と、環境保護への想い

SGEC国産認証材市場とPEFC国際認証材市場の構築ができます。

SGEC認証制度は、SGEC国産認証材ネットワークとPEFC国際認証材ネットワークを構築するシステムを有しています。認証材利用者の希望によりこのどちらのネットワークにも参加でき需要の実態に対応したビジネスが展開できます。



注 国内相互承認認証森林から生産された材は、SGEC、PEFCどちらの認証材ともなる要件を備えております。SGEC認証材は、国産材市場でSGECロゴマークによって管理されます。PEFC認証材は、国際市場においてPEFCロゴによって管理されます。

SGEC、PEFC認証取得をご希望される方は
緑の循環認証会議（SGEC）ホームページ（<http://www.sgec-eco.org>）に掲載する公示認定認証機関にお申し込みください。

一般社団法人 緑の循環認証会議
<http://www.sgec-eco.org>
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4F
 e-mail info@sgec-eco.org
 TEL 03-6273-3358 FAX 03-6273-3368

SGEC国際森林認証制度

～持続可能な森林経営による、資源循環型社会の実現を目指して～

認証木材・木製品の普及・浸透

環境に配慮した認証木材・木製品の
東京五輪や国民体育大会の競技施設等公的施設
への利用拡大を通じて、日本の「木の文化」の
継承と「適正な森林の保全・利用」を啓発し、
広く社会に普及・浸透されるよう強く期待



SGEC国際認証制度による持続可能な森林経営の実現

●緑の循環 (SGEC) 7つの基準-----

SGEC森林認証の目的は、モントリオール・プロセスを基本に日本の自然的、社会的立地に即し、森林の生態学的、経済的及び労働安全性の確保、地域住民・先住民族（アイヌ民族）の慣習的権利等の尊重を含む社会的な機能・役割を維持することが出来る持続可能な森林管理の実現。

- 基準1 認証対象森林の明示およびその管理方針の確定
- 基準2 生物多様性の保全
- 基準3 土壌および水資源の保全と維持
- 基準4 森林生態系の生産力および健全性の維持
- 基準5 持続的森林経営のための法的、制度的枠組み
- 基準6 社会、経済的便益の維持および増進
- 基準7 モニタリングと情報公開

《 私たちの森林を守る 》



◇モントリオール・プロセス

森林経営の持続可能性を客観的に把握し評価するための科学的に「基準・指標」として、日本を含め、米国、カナダ、ロシア、中国等の12カ国が参加し作成された国際的な取組み。

●SGEC管理・運営 4原則----

- 1 持続可能な森林経営を基本
- 2 認証制度の信頼性の確保
- 3 認証制度の説明責任の履行
- 4 認証制度の適応性・多様性の確保

●SGEC認証 第三者認証

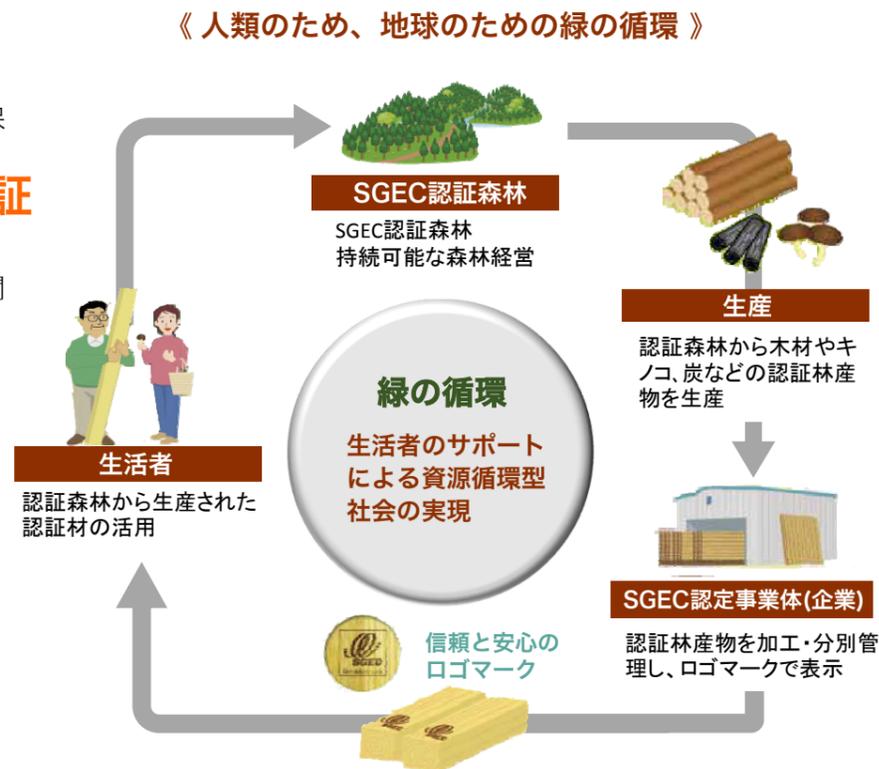
SGEC認証はISO国際基準に基づき認定機関から認定を受けた認証機関による第三者認証

◇SGEC

Sustainable Green Ecosystem Council
2003年に国内制度として創設
2016年にPEFCと相互承認をし
国際認証制度として出発

◇PEFC

Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes
1999年（2003年に改称）に設立され、
各国の制度を相互認証する組織で、世界最大の認証森林面積を有する国際森林認証制度（本部：スイス）

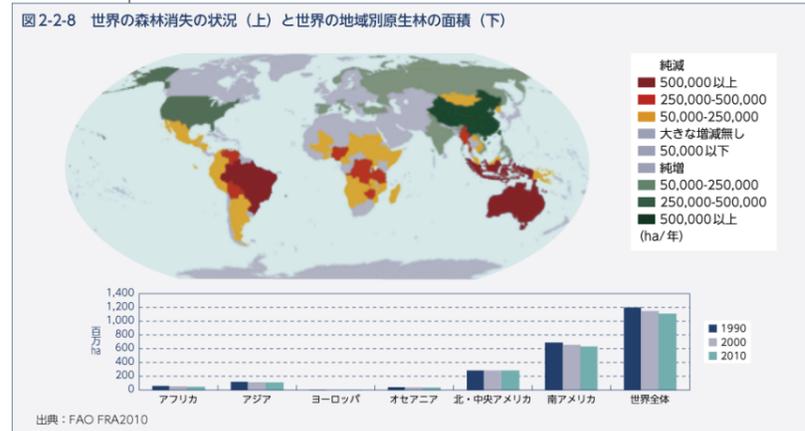


《 人類のため、地球のための緑の循環 》

国際森林認証「SGEC」が何故、全ての人に必要なのでしょうか？

地球の森林資源の枯渇と環境破壊

森は空気（酸素）をつくり、水を蓄え、土をつくり、多くの生物を養っています。森林が破壊されると、陸上生物は生きられません。乱開発、乱伐採で、すでに世界の原生林の多くが失われています（下図参照）。これ以上の森林資源の枯渇を防ぐためには、計画的な伐採を地球規模で進める必要があります。それを推進する世界的な認証制度が、SGECとPEFCです。



日本は森林王国

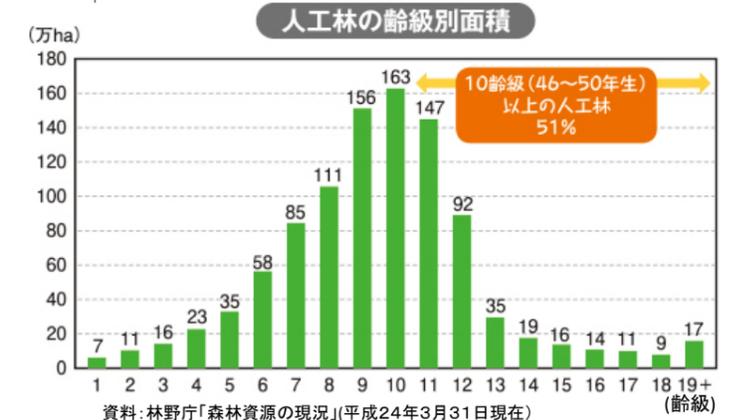
日本は、国土の7割を森林が占める森林の国。森林の様々な機能をどのようにして高度に発揮させるか、豊富な森林資源をどう生かすか、が日本の行く末を決めます。

森林の保全・利用の重要性

日本の森林は成熟期を迎えている

人工林は森林面積の約4割、蓄積で約6割。人工林の多くは今成熟期を迎え利用期を迎えており、今こそ森林の適切な利用・保全を図りながら地域の特性やニーズに応じた多様な森林づくりを進めていくことが重要です。

認証材活用の必然性



国産材活用の必然性